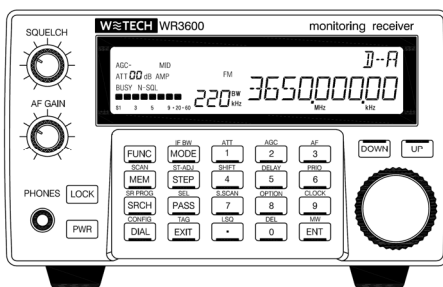


簡易操作説明書

Monitoring Receiver WR3600



はじめに

このたびは WR3600 をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、5kHz～3650MHz までの周波数を受信できる広帯域受信機です。本機の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、この取扱説明書をご使用前によくお読みください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

WR3600は、以下に示すような特徴を備えています。

特徴

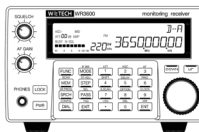
- ①5kHz～3650MHzの全周波数範囲において、きわめて安定した受信性能、低内部スプリアス。
- ②低雑音性能（低位相ノイズ）、高ダイナミックレンジ。
- ③高速サーチ、スキャン動作。
- ④アルミダイカスト筐体、小型、軽量、低消費電力。
- ⑤既存システムの置き換えも対応可能な、各種インターフェイス機能。

単体の広帯域受信機として、またシステム組み込み用のRF受信ユニットとして、業務用途から個人用途まで幅広くお使いいただくことができます。

付属品

- ①WR3600 本体 ----- 1
- ②AC アダプタ ----- 1
- ③変換ケーブル----- 1
 - AC アダプタ用
- ④DC コード----- 1
- ⑤簡易操作説明書（本書） ----- 1
- ⑥CD-ROM----- 1
 - 取扱説明書
 - 簡易操作説明書
 - コマンド説明書
- ⑦保証書 ----- 1

①WR3600 本体



②AC アダプタ



③変換ケーブル



④DC コード



⑤簡易操作説明書



⑥CD-ROM



⑦保証書

保証期間		機種名	機種番号	製造番号
① 保証期間	② 保証期間	③ 機種名	④ 機種番号	⑤ 製造番号
⑥ 保証期間	⑦ 保証期間	⑧ 機種名	⑨ 機種番号	⑩ 製造番号

※保証期間の注釈： ① 保証期間の注釈： ② 保証期間の注釈： ③ 機種名、④ 機種番号、⑤ 製造番号は必ず記載してください。 ⑥ 保証期間の注釈： ⑦ 保証期間の注釈： ⑧ 機種名、⑨ 機種番号、⑩ 製造番号は必ず記載してください。

株式会社コープテック 〒166-0005 東京都板橋区東板橋1-19-254 TEL:03-6715-5855



安全上のご注意

安全にお使いいただくために、必ずお読みください。




この「安全上のご注意」には、本機を安全にお使いいただき、お使いになる人や周囲の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、お守りいただきたい事項を絵表示で示しています。

誤った使い方をしたときに生じることが想定される、危害や損害の程度を「警告」、「注意」の2つに区分し、説明しています。

危害・損害の程度とその表示

 警告	この表示を無視して、取扱いをすると「人が死亡または重傷を負うおそれが想定される内容」を示しています。
 注意	この表示を無視して、取扱いをすると「人が傷害を負うおそれが想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

絵表示の例

	△ 記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

 警告	
	<p>煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐ AC アダプタや電源プラグを抜いてください。</p> <p>そのまま使用すると、火災や感電の原因になることがあります。 販売店または当社窓口にご相談ください。</p>
	<p>分解・修理・改造をしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因になることがあります。修理は販売店または当社窓口にご相談ください。</p>
	<p>指定の電源電圧以外で使用しないでください。</p> <p>発火、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因になることがあります。</p>
	<p>AC アダプタや電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。</p> <p>差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になることがあります。</p>
	<p>AC アダプタや電源プラグのほこりは定期的に清掃してください。</p> <p>プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁が悪くなり、火災、感電の原因になることがあります。</p>
	<p>ぬれた手で、AC アダプタや電源プラグを抜き差ししないでください。</p> <p>感電の原因になることがあります。</p>
	<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。</p> <p>傷つける、加工する、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど。 感電、火災の原因になることがあります。</p>
	<p>ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量をさげてからプラグを接続してください。</p> <p>聴力障害になることがあります。</p>
	<p>航空機内など使用が禁止された場所では電源を切ってください。</p> <p>他の電子機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になることがあります。</p>
	<p>水をかけたり、ぬらしたりしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因になることがあります。</p>
	<p>雷が鳴り出したら、アンテナや電源プラグに触れないでください。</p> <p>感電の原因になることがあります。</p>

 注 意	
	湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないでください。 火災、感電、故障の原因になることがあります。
	ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の多い場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりしてけが、火災、故障の原因になることがあります。
	テレビやラジオの近くで使用しないでください。 電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
	清掃するときは、シンナーやベンジンを使用しないでください。 ケースが変質したり、塗装がはがれる原因になることがあります。 乾いたやわらかい布でふいてください。 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ強くしぼってからふいてください。
	極端に高温、低温になる場所には置かないでください。 変色、変形、火災、故障の原因になることがあります。 直射日光が当たる場所 ヒータの噴出し口 クーラの噴出し口
	落としたり、強い衝撃を与えないでください。 けが、故障、破損の原因になることがあります。
	長期間使用しないときは AC アダプタや電源プラグを抜いてください。 旅行などで本機を長期間使用しないときは、安全のため AC アダプタをコンセントから抜いてください。
	本機の内部に異物を入れないでください。 開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。 火災、感電の原因になることがあります。
	AC アダプタや電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電波法上のご注意

電波法第 59 条で「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを盗用してはならない。」と通信の秘密の保護に関して定められています。

目次

はじめに	1
付属品	1
安全上のご注意	2
電波法上のご注意	4
目次	5
1 用語の説明	8
2 短縮表記の説明	10
3 各部の名称と機能	11
3.1 前面パネル	11
3.2 後面パネル	12
4 キー操作	14
4.1 キー操作の説明	14
4.2 長押しのあるキー	14
4.3 ファンクションキー	14
4.4 電源キー、ロックキー	14
4.5 エンターキー	14
4.6 動作モードキー、特殊キー	15
4.7 テンキー	16
4.8 アップキー、ダウンキー、[ダイヤル]	17
5 ディスプレイ	18
5.1 ディスプレイ表示説明	18
6 設置と接続	20
6.1 設置について	20
6.2 電源の接続	20
6.2.1 付属の AC アダプタを使用する場合	20
6.2.2 付属の DC ケーブルを使用する場合	20
6.3 アンテナの接続	20
7 初期設定	21
7.1 電源を入れる	21
7.2 電源を切る	21
7.3 AF GAIN（音量）調整	21
7.4 SQUELCH（スケルチ）	21
7.4.1 ノイズスケルチ調整	21
7.4.2 レベルスケルチ（LSQ）調整	22

8 各種の設定 -----	23
8.1 ダイアル（VFO）での受信周波数設定 -----	23
8.2 動作ドードへの移行 -----	23
8.2.1 ダイアル（VFO）切り替え -----	23
8.2.2 ダイアルサーチ（VFO サーチ） -----	23
8.2.3 プログラムサーチ -----	23
8.2.4 メモリリード -----	23
8.2.5 メモリスキャン -----	23
8.2.6 セレクトスキャン -----	23
8.3 プログラムサーチ、メモリのバンク変更 -----	23
8.4 各動作モードでの [UP]、[DOWN]、[ダイアル] 操作 -----	24
8.4.1 ダイアル（VFO） -----	24
8.4.2 ダイアルサーチ（VFO サーチ）、プログラムサーチ -----	24
8.4.3 メモリリード -----	24
8.4.4 メモリスキャン、セレクトスキャン -----	24
8.5 機能の ON、OFF 切り替え -----	25
8.5.1 復調モード AUTO -----	25
8.5.2 ステップアジャスト -----	25
8.5.3 周波数シフト -----	25
8.5.4 プライオリティ受信 -----	25
8.5.5 レベルスケルチ -----	25
8.6 表示切り替え -----	25
8.6.1 周波数と時計 -----	25
8.6.2 周波数とタグ（名前） -----	25
8.7 メニューへ移行して設定 -----	26
8.7.1 復調モード -----	26
8.7.2 IFBW（IF 帯域幅） -----	26
8.7.3 ステップ周波数 -----	26
8.7.4 ATT -----	26
8.7.5 AGC -----	26
8.7.6 AF 環境設定 -----	26
8.7.7 SHIFT 周波数 -----	26
8.7.8 DELEY -----	26
8.7.9 プライオリティ -----	26
8.7.10 オプション -----	26
8.7.11 時計機能 -----	27
8.7.12 LSQ -----	27
8.7.13 メモリ書込み -----	27
8.7.14 メモリスキャン環境設定 -----	27

目次

8.7.15 プログラムサーチ環境設定	28
8.7.16 ダイアルサーチ環境設定	28
8.7.17 システム環境設定	28
8.7.18 プログラムデータ設定	28
8.7.19 タグ（名前）編集	29
8.7.20 指定チャンネル消去	29
8.7.21 デリート（メモリチャンネル）	29
8.7.22 デリート（プログラムサーチ）	29
8.7.23 デリート（ダイアルサーチ）	29

1 用語の説明

用語の説明 (1/2)

電源 ON/OFF	
待機 (OFF)	電源が切れている状態。 • 起動から待機に移行する場合は、電源を切るときの設定内容を記憶します。
起動 (ON)	電源が入っている状態。 • 待機から起動に移行する場合は、前回電源を切ったときの内容呼び出します。
操作モード	
ローカル	本機前面パネルで操作するモードです。 • パソコンからのリモート操作も有効になります。(ただし受信音量、ノイズスケルチを除く) この場合、後からの操作が有効になります。
リモート	パソコンからのシリアル通信で操作をするモードです。 • 本機前面パネルからの操作は、[PWR]、[EXIT]、[ENT]を除き、無効になります。 • [EXIT]、[ENT]を操作すると、ローカルモードになり本機前面パネルからの操作が有効になります。 • [PWR]を操作して、電源を切ることができます。
動作モード	
ダイヤル(VFO)	周波数を入力したり、各種設定などほとんどの操作を行うことができる基本動作モードです。
ダイヤルサーチ (VFO サーチ)	全受信周波数範囲を、ステップ周波数間隔で電波を探す機能です。
プログラムサーチ	各サーチバンクに設定された、上限周波数と下限周波数の間をステップ周波数間隔で電波を探す機能です。 • バンク数 : 20 • バンク変更 : テンキー「2桁」で行います • パス周波数設定数: 500 (全バンク合計), 100 (1バンク最大)
メモリード	あらかじめ書き込みしておいた、メモリチャンネルを手動で読み出し受信する機能です。 • バンク変更 : テンキー「1桁」で行います。
メモリスキャン	あらかじめ書き込みしておいた、メモリチャンネルを自動で読み出し電波を探す機能です。
セレクトスキャン	セレクト設定されたメモリチャンネルのみをスキャンする機能です。 • セレクト設定は最大 100 で、超えた場合には古いものから順に上書きされます。
バンクリンク	
バンク書き込み	サーチ、スキャン動作の場合、バンクを複数連ねてサーチまたはスキャンする機能です。
サーチ、スキャン 共通項目	受信中の設定内容をメモリチャンネルに記憶させることです。 • 受信周波数、復調モード、IFBW、AGC、RF-ATT、RF-AMP、タグ (名前) など記憶します。 • 停止 : スケルチが開いて受信音が聞こえている状態です。 • 継続 : スケルチが閉じて順次電波を探し続けている状態です。 • 再開 : スケルチ開から閉になり、ディレイ時間経過後次へ進むことです。 • 停止中 : パス、セレクト設定ができます。 • 強制再開、方向変更 : [UP]、[DOWN]、[ダイヤル] の操作で次へ進めることです。 • パス設定された周波数、メモリチャンネルはサーチ、スキャン対象から除外されます。
プライオリティ受信	プライオリティ専用チャンネルを、インターバル時間毎に優先受信する機能です。
復調モード	電波型式に合わせて、正しく受信音に変換するための機能です。 • FM/AM/USB/LSB/CW/AUTO があります。 • AUTO モードは、設定した受信周波数によってあらかじめ記憶しているデータテーブルから復調モード、IFBW、ステップ周波数その他を自動設定します。
BW、IFBW	IF フィルタの通過帯域幅のことです。 * 2ndIF (10.7MHz)、3rdIF (455kHz) が対象です。
AGC	自動利得制御のことで、時定数の設定ができます。 • OFF/FAST/MID/SLOW が設定できます。
RF-ATT RF-AMP	強力な電波を受信して、受信音が歪んで聞こえるような時に使用する機能です。 • RF-ATT : 0dB/10dB/20dB/30dB/AUTO を設定できます。 AUTO は受信電波の強度に応じて自動で設定します • RF-AMP : ON/OFF を設定できます。 ※RF-ATT : 1100MHz 未満で有効、RF-AMP : 30MHz 未満で有効。

用語の説明

用語の説明 (2/2)

ミュート (MUTE)	ミュート ON : 受信音を聞こえないように制御することです。 ミュート OFF : 受信音を聞こえるように制御することです。
ノイズスケルチ	受信電波の強度によって受信音のノイズ量がかわります、それを利用して • しきい値よりノイズが大きい場合 : スケルチが閉じて受信音を消します。 • しきい値よりノイズが小さい場合 : スケルチが開いて受信音を聞こえるようにします。 • SQUELCH ツマミで調整します。
レベルスケルチ	受信電波の強度を表示する機能があります、それを利用して • しきい値より強度が小さい場合 : スケルチが閉じて受信音を消します。 • しきい値より強度が大きい場合 : ケルチが開いて受信音を聞こえるようにします。 • メニューへ移行して設定します。
ディレイ時間	スケルチが閉じてからサーチ、スキャンを再開するまでの待ち時間です。

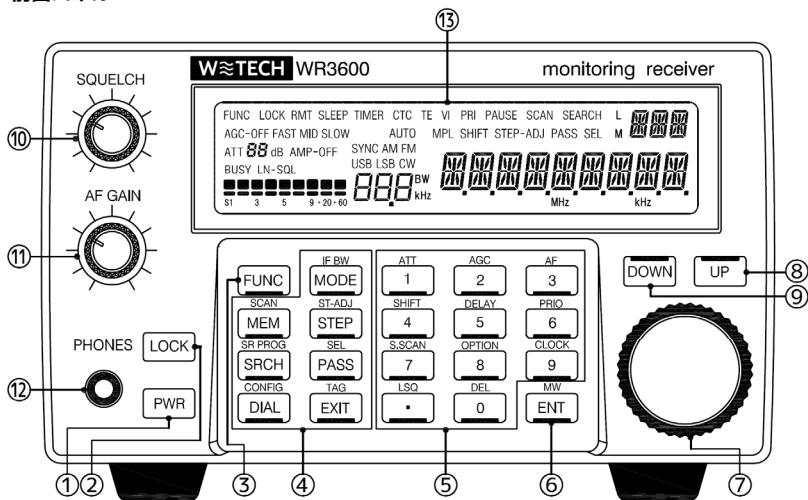
2 短縮表記の説明

各種設定メニュー内で、ディスプレイに表示される短縮表記の説明です。

MODE	復調モード
BW	IF フィルタ帯域幅 • 2ndIF(10.7MHz)、3rdIF(455kHz)が対象です。
ST	ステップ周波数
ATT	RF-ATT (高周波部の減衰器)
AMP	RF-AMP (高周波部の増幅器)
AGC	自動利得制御 • 2ndIF(10.7MHz)、3rdIF(455kHz)が対象です。
HPF	オーディオ段のハイパスフィルタ
LPF	オーディオ段のローパスフィルタ
DEMP	オーディオ段のディエンファシス
CW-P	CW 検波のビート周波数
LSQ	レベルスケルチ
LAMP	ディスプレイ・ランプ
BEEP	操作音
IFOUT	2ndIF(10.7MHz)、3rdIF(455kHz)の外部出力
BPS	シリアル通信速度
STD	PLL 回路の基準信号
S-M	S メータ
RSSI	受信電波の強度
AGC	自動利得制御
VI	音声反転
TE	トーンエリミネータ (空線信号キャンセラ)
DSR	ダイヤルサーチ
PSR	プログラムサーチ
bA	プログラムサーチデータを設定する場合の、バンク番号
LO	プログラムサーチデータを設定する場合の、下限周波数
HI	プログラムサーチデータを設定する場合の、上限周波数
MEM	メモリ
DEL	デリート
DBK	デリートバンク
BKL	バンクリンク
DIS	バンクリンク対象外
ENA	バンクリンク対象
No*/No-	No: バンク番号、CH: メモリチャンネル、DATA: プログラムサーチデータ
CH*/CH-	*: 選択したバンクに書き込みメモリチャンネル、プログラムサーチデータ有り
DATA*/DATA-	-: 選択したバンクに書き込みメモリチャンネル、プログラムサーチデータ無し
PASS*/PASS-	メモリーチャンネルのパス設定、サーチのパス周波数設定 *: 選択したバンクにメモリチャンネルのパス設定、サーチのパス周波数設定有り -: 選択したバンクにメモリチャンネルのパス設定、サーチのパス周波数設定無し
SEL*/SEL-	メモリーチャンネルのセレクト設定 *: 選択したバンクにメモリチャンネルのセレクト設定有り -: 選択したバンクにメモリチャンネルのセレクト設定無し

3 各部の名称と機能

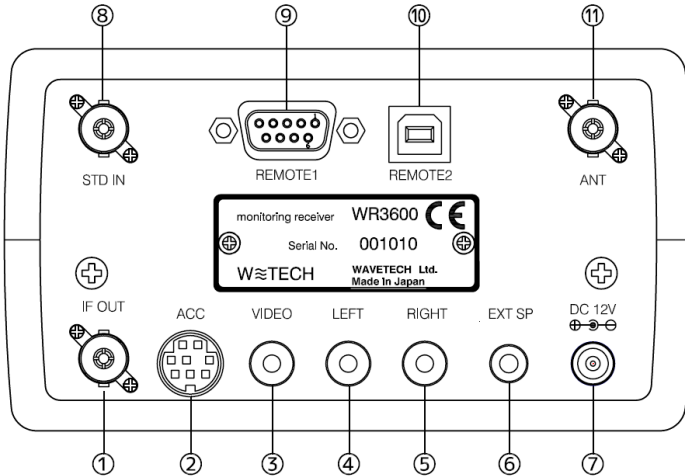
3.1 前面パネル




前面パネル

①	PWR (電源) キー	電源の ON/OFF をします。
②	LOCK (ロック) キー	各種キー及び [ダイヤル] の操作を有効、無効にします。
③	FUNC キー (ファンクションキー)	各種キーに、二重、三重の機能を割当てます。
④	動作モード、特殊キー	動作モードの切り替え、基本項目の設定、操作の取消しなどをします。
⑤	テンキー	受信周波数、ステップ周波数などを設定する場合、数値の入力などをします。
⑥	ENT (エンター) キー	各種の設定を確定します。
⑦	ダイヤル	受信周波数、メモリチャンネルなどを変更します。
⑧	UP (アップ) キー	受信周波数、メモリチャンネルなどを変更します。
⑨	DOWN (ダウン) キー	受信周波数、メモリチャンネルなどを変更します。
⑩	SQUELCH ツマミ (スケルチツマミ)	受信電波がないときに雑音を消す調整ツマミです。 ●ノイズスケルチを調整します。
⑪	AF GAIN ツマミ (音量ツマミ)	受信音量を調整します。
⑫	PHONES (ヘッドホン端子)	ヘッドホンを接続する端子です。 ●小型ジャックφ3.5 (ステレオ)。
⑬	ディスプレイ	受信周波数、信号強度及び各種の表示をします。

3.2 後面パネル



後面パネル (1/2)

①	IF OUT 端子	BNC 50Ω。 IF 信号を出力します。 • 10.7MHz : 帯域幅 10MHz • 10.7MHz : 10.7MHz フィルタ通過後 3.0kHz/6.0kHz/15kHz/30kHz/110kHz/220kHz • 455kHz : 455kHz フィルタ通過前																
②	ACC 端子  本体コネクタを 結合側からみた図	丸型ミニチュアコネクタ (ミニ DIN) • TCS7927-5841177 (WR3600 側ソケット) メーカー: ホシデン <table border="1" data-bbox="369 973 980 1375"> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電源出力 : 12V (最大 100mA)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>復調出力 : フィルタなどは通過していません。 適合負荷 : 10KΩ以上。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>復調出力 : カットオフ 24kHz のローパスフィルタ通過。 適合負荷 : 10KΩ以上。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>オーディオ出力 1 : フィルタの処理はスピーカ出力と同じです。 出力レベル : -10dBu 適合負荷 : 10KΩ以上。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>オーディオ出力 1 : フィルタの処理はスピーカ出力と同じです。 出力レベル : -50dBu 適合負荷 : 100KΩ以上。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>RSSI 出力 : アンテナ入力に比例した電圧を出力します。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>アンテナ切り替え信号 : 受信周波数 30MHz 未満で 0V。 受信周波数 30MHz 以上で 5V。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>グラウンド</td> </tr> </tbody> </table>	1	電源出力 : 12V (最大 100mA)	2	復調出力 : フィルタなどは通過していません。 適合負荷 : 10KΩ以上。	3	復調出力 : カットオフ 24kHz のローパスフィルタ通過。 適合負荷 : 10KΩ以上。	4	オーディオ出力 1 : フィルタの処理はスピーカ出力と同じです。 出力レベル : -10dBu 適合負荷 : 10KΩ以上。	5	オーディオ出力 1 : フィルタの処理はスピーカ出力と同じです。 出力レベル : -50dBu 適合負荷 : 100KΩ以上。	6	RSSI 出力 : アンテナ入力に比例した電圧を出力します。	7	アンテナ切り替え信号 : 受信周波数 30MHz 未満で 0V。 受信周波数 30MHz 以上で 5V。	8	グラウンド
1	電源出力 : 12V (最大 100mA)																	
2	復調出力 : フィルタなどは通過していません。 適合負荷 : 10KΩ以上。																	
3	復調出力 : カットオフ 24kHz のローパスフィルタ通過。 適合負荷 : 10KΩ以上。																	
4	オーディオ出力 1 : フィルタの処理はスピーカ出力と同じです。 出力レベル : -10dBu 適合負荷 : 10KΩ以上。																	
5	オーディオ出力 1 : フィルタの処理はスピーカ出力と同じです。 出力レベル : -50dBu 適合負荷 : 100KΩ以上。																	
6	RSSI 出力 : アンテナ入力に比例した電圧を出力します。																	
7	アンテナ切り替え信号 : 受信周波数 30MHz 未満で 0V。 受信周波数 30MHz 以上で 5V。																	
8	グラウンド																	

3 各部の名称と機能

後面パネル (2/2)

③	VIDEO 端子	NC (無接続)。 オプションのため無接続です。 RCA ジャック。
④	LEFT 端子	ライン出力端子。 ステレオの場合はレフト出力です。 出カインピーダンス：1K Ω 。 RCA ジャック。
⑤	RIGHT 端子	ライン出力端子。 ステレオの場合はライト出力です。 出カインピーダンス：1K Ω 。 RCA ジャック。
⑥	EXT SP 端子	外部スピーカーを接続します。 小型ジャック Φ 3.5 (モノラル)
⑦	電源入力端子 DC 12V	電源を接続します。 電源範囲：DC11V~15V 。 標準：12V DC 電源ジャック (EIAJ-4)。
⑧	STD IN 端子	外部基準信号 10MHz (20MHz 可能) を接続します。 BNC 50 Ω 。
⑨	REMOTE1 端子	パソコンに接続して本機を制御します。 D-Sub9 ピンメス。
⑩	REMOTE2 端子	パソコンに接続して本機を制御します。 USB Type B
⑪	ANT 端子	アンテナを接続します。 BNC 50 Ω 。

4 キー操作

4.1 キー操作の説明

短押し、長押し、2個のキーを組み合わせた操作があります。

[FUNC]		短押し	カク括弧で囲まれた表記はキー操作を表し、キーを押して離す操作です。 キーマークも同様です。
[FUNC+L]		長押し	[FUNC]キーの長押し操作で、約0.6秒以上押して離す操作です。
[FUNC]+[MODE]	+	組合せ	[FUNC]キー操作に続いて、[MODE]キーを操作することです。

2.2 長押しのあるキー

長押しのあるのは4キーです、それ以外は短押しです。

[PWR+L]		長押し	キーを0.6秒以上押して離す操作です。
[FUNC+L]			
[UP+L]			
[DOWN+L]			

4.3 ファンクションキー

	他のキーに二重割当てしている機能を使う場合に操作するキーです。 ①二重割当て機能は、該当キー上側パネルの捺印です。 ②二重割当て機能を設定する場合、[FUNC]を操作すると、ディスプレイの“FUNC”が点灯し、続けて次のキーを操作すると“FUNC”は消灯し、二重割当て機能が実行されます。
	他のキーに三重割当てしている機能を使う場合に操作するキーです。 ①三重割当て機能は、捺印がありません。 ②三重割当て機能を設定する場合、[FUNC]を操作すると、ディスプレイの“FUNC”が点滅し、続けて次のキーを操作すると“FUNC”は消灯し、三重割当て機能が実行されます。

4.4 電源キー、ロックキー

本機の電源ON/OFF、キー操作及び[ダイヤル]操作を有効、無効にします。

	電源のONをおこないます。
	電源のOFFをおこないます。
	ロックのON/OFFを交互に切り替えます。 ①ON：各種キー及び[ダイヤル]の操作を無効にします。 [PWR]、[LOCK]はロックONの場合も有効です。 ②OFF：各種キー及び[ダイヤル]の操作を有効にします。

4.5 エンターキー

各種操作の確定などをします。

	テンキーで入力した周波数、各種メニュー内での操作など、全ての設定項目を確定します。 メニュー内の操作では、「仮確定」場合があります。
+	メモリ書き込みメニューへ移行します。

4.6 動作モードキー、特殊キー

各動作モードへの移行、復調モード設定、ステップ周波数設定、操作の取消しなどをします。

MEM	①メモリリードへ移行します。 ②メモリリードの場合は、メモリスキャンへ移行します。 ③メモリスキャンの場合は、メモリリードへ移行します。
FUNC + MEM	メモリスキャンへ移行します。
FUNC+L + MEM	メモリスキャン環境設定メニューへ移行します。
SRCH	プログラムサーチへ移行します。
FUNC + SRCH	プログラムサーチデータ設定メニューへ移行します。
FUNC+L + SRCH	プログラムサーチ環境設定メニューへ移行します。
DIAL	①ダイヤル (VFO) を順次切り替えます。 →VFOA→VFOB→VFOC→VFOD→VFOE→VFOF→ ②ダイヤル以外の動作モードの場合は、直前のダイヤル (VFO) へ移行します。
FUNC + DIAL	システム環境設定メニューへ移行します。
FUNC+L + DIAL	ダイヤルサーチ (VFO サーチ) 環境設定メニューへ移行します。
MODE	復調モード設定メニューへ移行します。
FUNC + MODE	IFBW 設定メニューへ移行します。
FUNC+L + MODE	復調モード AUTO の ON/OFF を交互に切り替えます。
STEP	ステップ周波数設定メニューへ移行します。
FUNC + STEP	ステップアジャスト ON/OFF を交互に切り替えます。
PASS	①ダイヤルサーチ停止中、プログラムサーチ停止中、メモリスキャン停止中 パスを設定して、サーチ、スキャンを再開します。 ②メモリリード、セレクトスキャン停止中 パスの設定、解除を交互に切り替えます。 ③メニュー内では、対応している項目の ON/OFF、DIS/ENA を交互に切り替えます。
FUNC + PASS	①メモリリード、メモリスキャン停止中 セレクト設定、解除を交互に切り替えます。 ②セレクトスキャン停止中 セレクト設定を解除し、次のセレクトチャンネルへ進みます。
EXIT	操作に伴う仮確定を取り消し、直前の画面に戻ります。
FUNC + EXIT	周波数とタグ (メモリチャンネル名前・サーチバンク名前) 表示を交互に切り替えます。
FUNC+L + EXIT	タグ (名前) 設定メニューへ移行します。







4.7 テンキー

受信周波数、各種データの入力、各種メニューへの移行などをします。

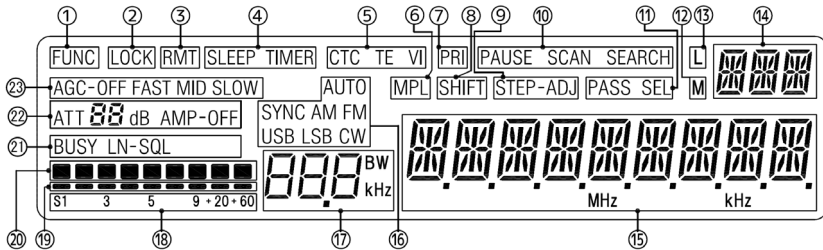
	受信周波数などの数値“1”を入力します。
	受信周波数などの数値“2”を入力します。
	受信周波数などの数値“3”を入力します。
	受信周波数などの数値“4”を入力します。
	受信周波数などの数値“5”を入力します。
	受信周波数などの数値“6”を入力します。
	受信周波数などの数値“7”を入力します。
	受信周波数などの数値“8”を入力します。
	受信周波数などの数値“9”を入力します。
	受信周波数などの数値“0”を入力します。
	MHz の桁を入力します。
	ATT 設定メニューへ移行します。
	AGC 設定メニューへ移行します。
	AF 環境設定メニューへ移行します。
	周波数 SHIFT (シフト) の ON/OFF を交互に切り替えます。
	SHIFT (シフト) 周波数設定メニューへ移行します。
	ディレイ時間設定メニューへ移行します。
	プライオリティ受信の ON/OFF を交互に切り替えます。
	プライオリティチャンネル設定メニューへ移行します。
	セレクトスキャンへ移行します。
	オプション設定メニューへ移行します。
	周波数と時計の表示を交互に切り替えます。
	時計設定メニューへ移行します。
	メモリリード、メモリスキャン停止中の場合 メモリ指定消去メニューへ移行します。
	①ダイヤル (VFO)、ダイヤルサーチ (VFO サーチ) の場合 ダイヤル (VFO) の消去メニューへ移行します。 ②メモリリード、メモリスキャン、レクトスキャンの場合 メモリ一括消去メニューへ移行します。 ③プログラムサーチの場合 プログラムサーチ一括消去メニューへ移行します。
	レベルスケルチの ON/OFF を交互に切り替えます。
	レベルスケルチ設定メニューへ移行します。

4.8 アップキー、ダウンキー、[ダイヤル]

受信周波数、メモリチャンネルなどを変更します。

	<ul style="list-style-type: none"> ①受信周波数をアップ方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。 ②サーチ、スキャンの場合は、サーチ、スキャンの方向をアップ方向へ変更します。 ③メモリチャンネルをアップ方向の、次チャンネルへ変更します。 ④メニュー内では、複数メニューがある場合メニューの移動をします。 ⑤メモリ書き込みメニューでは、アップ方向へ10チャンネル増加します。
	<ul style="list-style-type: none"> ①ダイヤル（VFO）の場合は、アップ方向へダイヤルサーチを開始します。 ②メモリアードの場合は、アップ方向へメモリスキャンを開始します。
	<ul style="list-style-type: none"> ①受信周波数をダウン方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。 ②サーチ、スキャンの場合は、サーチ、スキャンの方向をダウン方向へ変更します。 ③メモリチャンネルをダウン方向の、次チャンネルへ変更します。 ④メニュー内では、複数メニューがある場合メニューの移動をします。 ⑤メモリ書き込みメニューでは、ダウン方向へ10チャンネル変更します。
	<ul style="list-style-type: none"> ①ダイヤル（VFO）の場合は、ダウン方向へダイヤルサーチを開始します。 ②メモリアードの場合は、ダウン方向へメモリスキャンを開始します。
	<ul style="list-style-type: none"> ①受信周波数をアップ方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。 ②サーチ、スキャンの場合は、サーチ、スキャンの方向をアップ方向へ変更します。 ③メモリチャンネルをアップ方向の、次チャンネルへ変更します。 ④メニュー内では、設定項目の選択をします。 ⑤メモリ書き込みメニューでは、アップ方向へ1チャンネル変更します。
	<ul style="list-style-type: none"> ①受信周波数をダウン方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。 ②サーチ、スキャンの場合は、サーチ、スキャンの方向をダウン方向へ変更します。 ③メモリチャンネルをダウン方向の、次チャンネルへ変更します。 ④メニュー内では、設定項目の選択をします。 ⑤メモリ書き込みメニューでは、ダウン方向へ1チャンネル変更します。

5 ディスプレイ



5.1 ディスプレイ説明

ディスプレイ表示説明 (1/2)

No	セグメント	説明
①	FUNC	二重機能割当て操作をする場合（短押し）：点灯 三重機能割当て操作をする場合（長押し）：点滅
②	LOCK	キーロックを ON に設定した場合、点灯します。
③	RMT	リモート操作の場合、点灯します。
④	SLEEP TIMER	スリープタイマが設定されている場合、点灯します。 オンタイマ、オフタイマが設定されている場合、点灯します。
⑤	CTC	CTCSS 機能が設定されている場合、点灯します。
	TE	トーンエリミネータ機能が設定されている場合、点灯します。
	VI	音声反転機能が設定されている場合、点灯します。
⑥	MPL	ステレオ放送を受信している場合、点灯します。
⑦	PRI	プライオリティ受信が設定されている場合、点灯します。 プライオリティ設定メニューに移行している場合、点滅します。
⑧	SHIFT	周波数シフト機能が動作している場合、点灯します。 周波数シフト設定メニューに移行している場合、点滅します。
⑨	STEP-ADJ	ステップアジャストが ON に設定されている場合、点灯します。
⑩	PAUSE SCAN SEARCH	ポーズサーチ、ポーズスキャンが設定されている場合、点灯します。 メモリスキャン、セレクトスキャンの場合、点灯します。 メモリスキャン環境設定メニューに移行している場合、点滅します。 ダイヤルサーチ（VFO サーチ）、プログラムサーチの場合、点灯します。 プログラムサーチ環境設定メニューに移行している場合、点滅します。
⑪	PASS SEL	メモリリード、セレクトスキャンの場合 ●パス設定されているメモリチャンネルを読み出している場合、点灯します。 メモリリード、メモリスキャン、セレクトスキャンの場合 ●セレクト設定されているメモリチャンネルを読み出している場合、点灯します。
⑫	M	メモリリード、メモリスキャン、セレクトスキャンの場合、点灯します。
⑬	L	メモリスキャン、プログラムサーチの場合 ●バンクのリンクが ON 設定されている場合、点灯します。

5 ディスプレイ

ディスプレイ表示説明 (2/2)

⑭	888 メモリチャンネル 表示部	①メモリリード、メモリスキャン、セレクトスキャンの場合 メモリチャンネル番号を表示します。 ②ダイヤル (VFO)、ダイヤルサーチ (VFO サーチ) の場合 ダイヤル (VFO) 番号を表示します。 ③プログラムサーチの場合 サーチバンク番号を表示します。
⑮	888888888 周波数表示部	①受信周波数を表示します。 ②プログラムサーチ、メモリリード、メモリスキャン、セレクトスキャンの場合 受信周波数とタグ(名前)を切り替えて表示することができます。 ③各種メニュー移行中は、対応する設定項目を表示します。
⑯	AUTO	復調モードが AUTO に設定されている場合、点灯します。
	SYNC	復調モードが SAM/SUSB/SLSB に設定されている場合、点灯します。 オプションなので実装していません、設定できません。
	AM	復調モードが AM に設定されている場合、点灯します。
	FM	復調モードが FM に設定されている場合、点灯します。
	USB	復調モードが USB に設定されている場合、点灯します。
	LSB	復調モードが LSB に設定されている場合、点灯します。
	CW	復調モードが CW に設定されている場合、点灯します。
⑰	888 IFBW 表示部	IFBW 表示部です。 選択されている IFBW (IF 帯域幅) を表示します。
	BW kHz	常に点灯
⑱	S メータ目盛り	常に点灯します。
⑲	LSQ しきい値メータ	レベルスケルチが ON に設定されている場合、しきい値に合せて点灯します。
⑳	S メータ	受信電波の強度に応じて点灯します。
㉑	BUSY	スケルチが開の場合、点灯します。
	L	レベルスケルチが ON に設定されている場合、点灯します。
	N	常に点灯します、ノイズスケルチが常時動作していることを表示しています。
	-SQL	常に点灯します。
㉒	ATT	常に点灯します。
	88	ATT の設定値を表示します。
	dB	常に点灯します。
	AMP	常に点灯します。
	-OFF	RF-AMP が OFF に設定されている場合、点灯します。
㉓	AGC -	常に点灯します。
	OFF	AGC が OFF に設定されている場合、点灯します。
	FAST	AGC がファーストに設定されている場合、点灯します。
	MID	AGC がミッドに設定されている場合、点灯します。
	SLOW	AGC をスローに設定されている場合、点灯します。

6 設置と接続

6.1 設置について

本機を設置する際は、直射日光の当たる場所、高温になる所、ほこりの多い所、への設置はさけてください。

6.2 電源の接続

6.2.1 付属の AC アダプタを使用する場合

AC アダプタを家庭用 AC 電源に接続して、AC アダプタからの DC 出力ケーブルを変換ケーブル経由で本機後面 DC12V 端子に接続します。

6.2.2 付属の DC ケーブルを使用する場合

外部直流安定化電源装置 (DC12V) に接続します、電流は 1200mA 以上必要です。
極性 (+、-) は正しく接続してください。

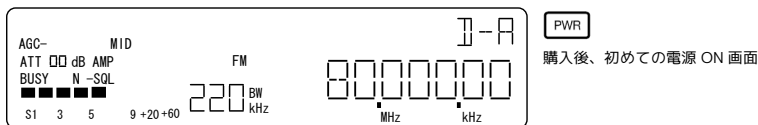
6.3 アンテナの接続

アンテナは本機の性能を十分に発揮させるために重要な部分です、受信する周波数に適したアンテナを接続してください。

7 初期設定

7.1 電源を入れる

- ①電源キー [PWR] で電源を入れます。この状態を「起動」といいます。
- ②前回電源を切ったときの内容を読み出します。
- ③本機を購入後、初めて電源を入れると次の初期画面が表示されます。

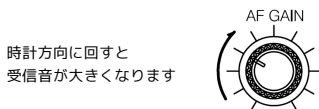


7.2 電源を切る

- ①電源キー [PWR+L] で電源を切ります。この状態を「待機」といいます。
- ②電源を切るときの設定内容を記憶し、次回電源を入れたときは記憶した内容を読み出します。

7.3 AF GAIN (音量) 調整

AF GAIN ツマミを時計方向に回すと“ザー”という雑音が増えてきます、聞きやすい音量に調整してください。



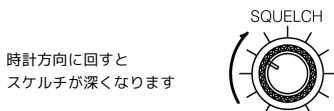
7.4 SQUELCH (スケルチ)

- ①受信音のミュートやサーチ、スキャン動作の停止、継続を制御します。
- ②ノイズスケルチ、レベルスケルチがあります。
- ③スケルチの表現
 - スケルチが閉じる：受信電波の強度がスケルチのしきい値より弱く、ミュートが ON になり受信音が聞かない状態です。
 - スケルチが開く：受信電波の強度がスケルチのしきい値より強く、ミュートが OFF になり受信音が聞こえている状態です。
 - スケルチが深い：受信電波の強度が強い方向で、スケルチが開くように設定されている状態。
 - スケルチが浅い：受信電波の強度が弱い方向で、スケルチが開くように設定されている状態。

※ノイズスケルチは常時動作しています、レベルスケルチが ON の場合は両スケルチが開いた場合にスケルチは開きます。

7.4.1 ノイズスケルチ調整

- ①ミュートやサーチ、スキャン動作の停止、継続を制御する基本になります。通常スケルチと言うとノイズスケルチを示します。
- ②SQUELCH ツマミを時計方向にゆっくり回していくと、“ザー”という雑音が消えたり、聞こえたりする位置があります、その位置から目盛り線幅 3~5 個分時計方向に回して、“ザー”という雑音が安定して消えるように調整してください。
 - スケルチが開いていると、ディスプレイのアイコン “BUSY” が点灯します。
 - スケルチが閉じていると、ディスプレイのアイコン “BUSY” が消灯します。



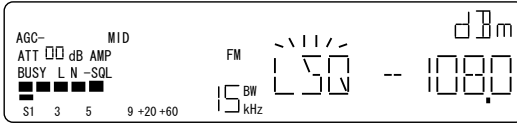
7.4.2 レベルスケルチ (LSQ) 調整

- ①サーチ、スキャン動作で、あるレベル以上の受信電波を探す場合に使用すると便利な機能です。
- ②メニューへ移行して設定します。


メニューへの移行


[FUNC+L] + [.] で、メニューへ移行します。

メニュー画面  + 



しきい値設定メニュー

 しきい値を選択。

 確定してメニューを終了。

基本事項

- ①単位 : dBm
- ②範囲 : -120~0dBm
- ③ステップ : 0.5dB
- ④しきい値選択 : [ダイヤル]
- ⑤しきい値メータ : しきい値に応じて点灯します。
- ⑥確定 : [ENT]
- ⑦操作取り消し : [EXIT]、操作を取り消してメニューへ移行する直前の画面に戻ります。

操作

- ① [FUNC+L] + [.] で、メニューへ移行します。
- ② [ダイヤル] で、しきい値を選択します。
- ③ [ENT] で、確定してメニューを終了します。
- ④ 操作を取り消す場合は、[EXIT] です。

レベルスケルチしきい値メータ と レベルスケルチしきい値の関係

レベルスケルチしきい値メータ		レベルスケルチしきい値 dBm	備考
個数	目盛り		
1	S1	-108	
2	-	-105	
3	S3	-100	
4	-	-95	
5	S5	-90	
6	-	-80	
7	S9	-70	
8	+20	-50	
9	+60	-30	

8 各種の設定

8.1 ダイアル (VFO) での受信周波数設定

受信周波数の設定は、テンキーによる直接設定とダイアルによるチューニングがあります。

No	設定項目	操作	説明
1	受信周波数		操作例 1 0.95400MHz [0] [・] [9] [5] [4] [ENT] の順で入力します。 [・] [9] [5] [4] [ENT] の順で入力します。
			操作例 2 1295.85000MHz [1] [2] [9] [5] [・] [8] [5] [ENT] の順で入力します。
			受信周波数をアップ方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。
			受信周波数をダウン方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。

































8.2 動作モードへの移行

	移行先動作モード	操作	説明
8.2.1	ダイアル(VFO) 切り替え		ダイアル (VFO) を順次切り替えます。 →VFOA→VFOB→VFOC→VFOD→VFOE→VFOF→ ダイアルモード以外の場合は、直前のダイアル (VFO) へ移行します。
8.2.2	ダイアルサーチ (VFO サーチ)		ダイアルサーチへ移行、方向はアップです。
			ダイアルサーチへ移行、方向はダウンです。
8.2.3	プログラムサーチ		プログラムサーチへ移行します。
8.2.4	メモリリード		メモリリードの場合は、メモリスキャンへ移行します。 メモリスキャンの場合は、メモリリードへ移行します。
8.2.5	メモリスキャン	+	メモリスキャンへ移行します。
8.2.6	セレクトスキャン	+	セレクトスキャンへ移行します。

8.3 プログラムサーチ、メモリのバンク変更

	バンク変更	操作	説明
8.2.7	プログラムサーチ		"2桁" 入力時点で変更します。
8.2.8	メモリ		"1桁" 入力時点で変更します。

8.4 各動作モードでの [UP]、[DOWN]、[ダイヤル] 操作

No	動作モード	操作	説明
8.4.1	ダイヤル(VFO)	 	受信周波数をアップ方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。
		 	受信周波数をダウン方向へ、ステップ周波数間隔で変更します。
			アップ方向ヘダイヤルサーチを開始します。
			ダウン方向ヘダイヤルサーチを開始します。
8.4.2	ダイヤルサーチ (VFO サーチ) プログラムサーチ	  	サーチの方向をアップ方向へ変更します。
		  	サーチの方向をダウン方向へ変更します。
			停止中：パス設定し、次周波数へ進みます。 継続中：無効です。
8.4.3	メモリアード	 	メモリチャンネルをアップ方向の、次チャンネルへ変更します。
		 	メモリチャンネルをダウン方向の、次チャンネルへ変更します。
			アップ方向ヘメモリスキャンを開始します。
			ダウン方向ヘメモリスキャンを開始します。
			パス設定、解除を交互に切り替えます。
		 + 	セレクト設定・解除を交互に切り替えます。
8.4.4	メモリスキャン セレクトスキャン	  	スキャンの方向をアップ方向へ変更します。
		  	スキャンの方向をダウン方向へ変更します。
			メモリスキャン 停止中：パス設定し、次チャンネルへ進みます。 継続中：無効です。
			セレクトスキャン 停止中：パス設定、解除を交互に切り替えます。 継続中：無効です。
		 + 	メモリスキャン 停止中：セレクト設定、解除を交互に切り替えます。 継続中：無効です。 セレクトスキャン 停止中：セレクト解除し、次セレクトチャンネルへ進みます。 継続中：無効です。

8 各種の設定





8.5 機能の ON/OFF 切り替え

No	ON/OFF 切り替え	操作	説明
8.5.1	復調モード AUTO	FUNC+L + MODE	復調モード AUTO の ON/OFF を交互に切り替えます。
8.5.2	ステップアジャスト	FUNC + STEP	ステップアジャストの ON/OFF を交互に切り替えます。
8.5.3	周波数シフト	FUNC + 4	周波数シフトの ON/OFF を交互に切り替えます。
8.5.4	プライオリティ受信	FUNC + 6	プライオリティ受信の ON/OFF を交互に切り替えます。
8.5.5	レベルスケルチ	FUNC + .	レベルスケルチの ON/OFF を交互に切り替えます。

8.6 表示切り替え

No	表示切り替え	操作	説明
8.6.1	周波数と時計	FUNC + 9	周波数と時計の表示を交互に切り替えます。
8.6.2	周波数とタグ（名前）	FUNC + EXIT	周波数とタグ（名前）表示を交互に切り替えます。





8.7 メニューへ移行して設定 (1/4)






















- ※  : 操作を取り消し、メニューを終了します。
-  : 設定を仮確定、または設定を確定してメニューを終了します。
-   : 複数メニューがある場合、メニューを移動します。

No	設定項目	メニューへ移行	メニュー移動		メニュー内操作		
							
8.7.1	復調モード		MODE		⇔FM⇔AM⇔USB⇔LSB⇔CW⇔		
8.7.2	IFBW (IF 帯域幅)	 + 	BW		⇔2.4⇔5.5⇔7.0⇔15.0⇔30.0⇔ ⇔110.0⇔220.0⇔		
8.7.3	ステップ 周波数		ST		⇔0.001⇔0.010⇔0.050⇔0.100⇔ ⇔0.500⇔1.000⇔5.000⇔6.250⇔ ⇔8.300⇔9.000⇔10.000⇔ ⇔12.500⇔20.000⇔25.000⇔ ⇔30.000⇔50.000⇔100.000⇔ ⇔500.000⇔		周波数 直接設定
8.7.4	ATT	 + 	ATT		⇔AUTO⇔0dB⇔10dB⇔20dB⇔ ⇔30dB⇔		
	IFG はオプションです搭載していないと設定できません。		IFG		⇔0.0dB⇔0.5dB⇔...⇔29.5dB⇔ ⇔30.0dB⇔ ●範囲：0.0dB～30.0dB 秒 ●ステップ：0.5dB	ON/OFF	
8.7.5	AGC	 + 	AGC		⇔OFF⇔FAST⇔MID⇔SLOW⇔		
8.7.6	AF 環境設定	 + 	HPF		⇔0.05⇔0.2⇔0.3⇔0.4⇔		
			LPF		⇔3.0⇔4.0⇔6.0⇔20.0⇔		
			DEMP		⇔THRU⇔25⇔50⇔75⇔750⇔		
			CW-P		⇔0.4⇔0.5⇔0.6⇔0.7⇔0.8⇔ ⇔0.9⇔1.0⇔12.0⇔		
8.7.7	SHIFT 周波数	 + 	SHIFT		⇔+⇔-⇔		周波数 直接設定
8.7.8	DELAY	 + 	DELAY		⇔OFF⇔0.1⇔0.2⇔...⇔9.8⇔9.9⇔ ●範囲：0.1～9.9 秒 ●ステップ：0.1 秒		
8.7.9	プライオリ ティ	 + 	内容設定		受信周波数、復調モード等、必要項目をダイヤル (VFO) とおなじ方法で設定します。		
			INTERVAL		⇔1⇔2⇔3⇔...⇔58⇔59⇔60⇔ ●範囲：1～60 秒 ●ステップ：1 秒		
8.7.10	オプション	 + 	VI		⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ ●範囲：0～255 ●ステップ：1	ON/OFF	
			TE		⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ ●範囲：0～255 ●ステップ：1	ON/OFF	

8 各種の設定





8.7 メニューへ移行して設定 (2/4)

- ※  : 操作を取り消し、メニューを終了します。
-  : 設定を仮確定、または設定を確定してメニューを終了します。
-   : 複数メニューがある場合、メニューを選択します。

No	設定項目	メニューへ移行	メニュー選択	メニュー内操作			
			 				
8.7.11	時計機能	 + 	時計時刻	時分秒合せ HH-MM--SS			  時分秒 選択
			ON TIMER 時刻	時分秒合せ HH-MM--SS	ON/OFF		  時分秒 選択
			ALM	⇔RADIO⇔BEEP⇔			
			VOLUME	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ • 範囲: 0~255 • ステップ: 1			
			SQL	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ • 範囲: 0~255 • ステップ: 1			
			OFF TIMER 時刻	時分秒合せ HH-MM--SS	ON/OFF		  時分秒 選択
			SLEEPE	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔119⇔120⇔ • 範囲: 1~120 分 • ステップ: 1 分	ON/OFF		
8.7.12	LSQ レベル スケルチ	 + 	LSQ	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ • 範囲: 0~255 • ステップ: 1			
8.7.13	メモリ 書込み	 + 		全チャンネル (000~999) を順次選択 ※特殊操作  : チャンネルを 10 増やす  : チャンネルを 10 減らす		 バンク 選択	
8.7.14	メモリ スキャン 環境設定	 + 	PAUSE	⇔1⇔2⇔...⇔59⇔60⇔ • 範囲: 1~60 秒 • ステップ: 1 秒	ON/OFF		
			BKL	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔8⇔9⇔ • 範囲: 0~9 • ステップ: 1	DIS/ENA		
			BKL		ON/OFF		

8.7

メニューへ移行して設定 (3/4)

- ※  : 操作を取り消し、メニューを終了します。
-  : 設定を仮確定、または設定を確定してメニューを終了します。
-   : 複数メニューがある場合、メニューを選択します。

No	設定項目	メニュー	メニュー選択	メニュー内操作		
		移行	 		 	
8.7.15	プログラムサーチ環境設定	 + 	PAUSE	⇔1⇔2⇔...⇔59⇔60⇔ • 範囲: 1~60 秒 • ステップ: 1 秒	ON/OFF	
			BKL	⇔00⇔01⇔02⇔...⇔18⇔19⇔ • 範囲: 00~19 • ステップ: 1	DIS/ENA	
			BKL		ON/OFF	
8.7.16	ダイヤルサーチ環境設定	 + 	PAUSE	⇔1⇔2⇔...⇔59⇔60⇔ • 範囲: 1~60 秒 • ステップ: 1 秒	ON/OFF	
8.7.17	システム環境設定	 + 	LAMP		ON/OFF	
			BEEP	⇔0⇔1⇔2⇔...⇔254⇔255⇔ • 範囲: 0~255 • ステップ: 1	ON/OFF	
			IFOUT	⇔OFF⇔1⇔2⇔3⇔		
			BPS	⇔9.6k⇔19.2k⇔38.4k⇔57.6k⇔ ⇔115.2k⇔		
			STD	⇔20MHz(INT)⇔10MHz(EXT)⇔		
			S-M	⇔RSSI⇔AGC⇔		
			DISP	⇔NORM⇔RSSI⇔		
8.7.18	プログラムサーチデータ設定	 + 	バンク# 選択	⇔00⇔01⇔2⇔...⇔18⇔19⇔ • 範囲: 00~19 • ステップ: 1		
			下限周波数 LO			周波数 直接設定
			上限周波数 HI			周波数 直接設定
			ST	⇔0.001⇔0.010⇔0.050⇔0.100⇔ ⇔0.500⇔1.000⇔5.000⇔6.250⇔ ⇔8.300⇔9.000⇔10.000⇔ ⇔12.500⇔20.000⇔25.000⇔ ⇔30.000⇔50.000⇔100.000⇔ ⇔500.000⇔		周波数 直接設定
			MODE	⇔FM⇔AM⇔USB⇔LSB⇔CW⇔		
			BW	⇔2.4⇔5.5⇔7.0⇔15.0⇔30.0⇔ ⇔110.0⇔220.0⇔		
			AGC	⇔OFF⇔FAST⇔MID⇔SLOW⇔		

株式会社ウエーブテック WAVE TECH Ltd.

〒146-0095

東京都大田区多摩川 1-15-3 204 TEL (03) 6715-5835

Printed in Japan

2013 第1版
